

福島第一原子力発電所の滞留水の水位・移送、処理の状況について（2月10日18時現在）

		1号機	2号機	3号機	4号機
滞留水の水位 (2月10日16時時点)	トレンチ立坑水位	水位低下に伴い、測定できず (O.P.+ 850 mm未満)	O.P.+ 3,159 mm (2月10日7時から25 mm上昇)	O.P.+ 3,079 mm (2月10日7時から7 mm上昇)	
	タービン建屋水位	O.P.+ 2,939 mm (2月10日7時から7 mm上昇)	O.P.+ 3,119 mm (2月10日7時から22 mm上昇)	O.P.+ 3,008 mm (2月10日7時から8 mm上昇)	O.P.+ 2,987 mm (2月10日7時から9 mm上昇)
	原子炉建屋水位	O.P.+ 4,318 mm (2月10日7時から4 mm下降)	O.P.+ 3,296 mm (2月10日7時から18 mm上昇)	O.P.+ 3,316 mm (2月10日7時から8 mm上昇)	O.P.+ 3,008 mm (2月10日7時から8 mm上昇)
	集中廃棄物処理施設 における各建屋の水位	プロセス主建屋 高温焼却炉建屋 サイトバンカ建屋	O.P.+ 2,772 mm (初期値からの増加量3,989 mm, 2月10日7時から28 mm上昇) O.P.+ 2,898 mm (初期値からの増加量3,624 mm, 2月10日7時から33 mm上昇) O.P.+ 4,289 mm (床面からの水位493 mm, 2月10日7時から265 mm下降)		
滞留水の移送状況			2号機タービン建屋地下 集中廃棄物処理施設(高温焼 却炉建屋) 移送実施中 (2月10日14時43分～)	移送停止中	
水処理設備の運転状況		セシウム吸着装置 : 1月30日13時47分～ 運転中 第二セシウム吸着装置(サリー) : 2月10日14時32分～ 運転中 淡水化装置(逆浸透膜) : 水バランスをみて断続運転 淡水化装置(蒸発濃縮) : 水バランスをみて断続運転			
その他特記事項	第二セシウム吸着装置において、処理流量に低下傾向が見られることから、2月10日8時39分に同装置を一時停止し、フィルタの洗浄を実施。同日14時19分に同装置を起動し、14時32分に定常流量に到達。 2月10日8時45分～16時39分、サイトバンカ建屋からプロセス主建屋への滞留水の移送を実施。				

水位についてはデータとして速やかに提供させていただく観点から、参考値としてお知らせさせていただいております。